

平成 29 年 度

決 算 報 告 (案)

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人日本修学旅行協会

目 次

<決算報告>

1. 貸借対照表	1
2. 正味財産増減計算書内訳表	2
3. 財産目録	4
4. 財務諸表に対する注記及び附属明細書	5
5. 監査報告書	6

貸借対照表

平成30年3月31日

(単位: 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	86,981	314,712	-227,731
普通預金	7,114,032	9,871,816	-2,757,784
定期預金	6,064,763	6,064,158	605
郵便振替貯金	3,887,952	3,492,350	395,602
未収金	108,705	272,654	-163,949
前払金	599,508	267,700	331,808
売掛金	793,350	760,950	32,400
棚卸資産	671,376	635,748	35,628
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	19,326,667	21,680,088	-2,353,421
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
(2)特定財産	0	0	0
(3)その他固定資産			
備品	2	2	0
差入保証金	5,091,460	5,091,460	0
電話加入権	100,600	100,600	0
固定資産合計	10,192,062	10,192,062	0
資産合計	29,518,729	31,872,150	-2,353,421
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	39,084	155,660	-116,576
未払金	686,812	3,843,995	-3,157,183
前受金	49,896	257,128	-207,232
仮受金	0	0	0
未払法人地方税	23,700	23,700	0
未払消費税等	639,000	319,100	319,900
流動負債合計	1,438,492	4,599,583	-3,161,091
2 固定負債			
退職給与引当金	0	0	0
賞与引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,438,492	4,599,583	-3,161,091
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
2 一般正味財産	28,080,237	27,272,567	807,670
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	
正味財産合計	28,080,237	27,272,567	807,670
負債及び正味財産合計	29,518,729	31,872,150	-2,353,421

正味財産増減計算書内訳表

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：円)

	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	498			498
② 受取会費				
賛助金収入	3,410,000			3,410,000
③ 事業収益				
出版物収入	9,214,606			9,214,606
広告料収入	13,646,656			13,646,656
受託収入	160,000			160,000
シンポジウム参加収入	461,000			461,000
その他事業収入	6,992,799			6,992,799
④ 受取寄付金				
受取寄付金	41,874,843	10,325,157		52,200,000
⑤ 雑収益				
雑収入	0			0
受取利息	745			745
経常収益 計	75,761,147	10,325,157		86,086,304
(2) 経常費用				
調査研究費	1,470,618			1,470,618
研究校実施費	120,000			120,000
修学旅行委員会費	368,109			368,109
事務所経費	3,954,167			3,954,167
出版物刊行費	13,182,478			13,182,478
広告宣伝費	20,000			20,000
荷作り運搬費	1,728,438			1,728,438
シンポジウム費	1,228,326			1,228,326
その他事業費	5,222,042			5,222,042
広告渉外費	5,330			5,330
資料費	120,715	13,413		134,128
役員報酬	2,100,000	900,000		3,000,000
給与手当	32,105,517	3,567,280		35,672,797
福利厚生費	89,037	22,259		111,296
社会保険料	1,356,074	339,018		1,695,092

	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
傷害保険	116,592	29,148		145,740
通勤費	1,793,722	448,430		2,242,152
旅費交通費	1,322,177	330,544		1,652,721
通信運搬費	908,422	227,106		1,135,528
消耗品費	645,050	161,263		806,313
修繕費	578,880	144,720		723,600
光熱水費	718,270	179,567		897,837
借家費	4,203,677	1,050,919		5,254,596
機械賃借料	1,553,501	388,375		1,941,876
会議費		353,066		353,066
租税公課		1,017,720		1,017,720
諸会費		597,500		597,500
支払手数料		523,714		523,714
雑損失		0		0
交際費		20,530		20,530
雑費	42,336	10,584		52,920
経常費用 計	74,953,477	10,325,157		85,278,634
評価損益等調整前当期経常増減額	807,670	0		807,670
投資有価証券評価損益等	0	0		0
評価損益等計	0	0		0
当期経常増減額	807,670	0		807,670
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用 計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	807,670	0		807,670
当期一般正味財産増減額	807,670	0		807,670
一般正味財産期首残高	26,483,958	788,609		27,272,567
一般正味財産期末残高	27,291,628	788,609		28,080,237
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産	27,291,628	788,609		28,080,237

財 産 目 録
平成30年3月31日

(単位: 円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	現金手許有高	運転資金	86,981
	普通預金	みずほ銀行 横山町支店	運転資金	5,657,641
	〃	〃 新橋支店	運転資金	1,456,391
	定期預金	〃 横山町支店	運転資金	6,064,763
	郵便振替預金	東京貯金事務センター	運転資金	3,887,952
	未収金		月刊誌購読料等	108,705
	前払金		通勤費	599,508
	売掛金		月刊誌広告料	793,350
棚卸資産		年報・月刊誌・切手等在庫	671,376	
流動資産合計				19,326,667
(固定資産)	基本財産			
	定期預金	みずほ銀行 新橋支店	基本財産	5,000,000
	その他 固定資産			
	備品			2
	差入保証金	事務所敷金	5,091,460	
	電話加入権	電話加入権	100,600	
固定資産合計				10,192,062
資産合計				29,518,729
(流動負債)	預り金		健康保険料等	39,084
	未払金		後納郵便料等	686,812
	前受金		月刊誌購読料等	49,896
	未払法人地方税			23,700
	未払消費税等			639,000
流動負債合計				1,438,492
固定負債合計				0
負債合計				1,438,492
正味財産				28,080,237

監査報告書


平成 30 年 5 月 14 日

公益財団法人日本修学旅行協会
理事長 竹内 秀一 殿

公益財団法人日本修学旅行協会

監事 栗原 茂夫 

公益財団法人日本修学旅行協会

監事 小林 孝雄 

私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳票又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告書の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況のすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。